

収蔵庫から選んだ資料展

陶芸家・梅田純一と ドナルド・キーンドナルド・キーンの交流

日本初のドナルド・キーン文庫は四国・徳島の穴喰町しぐいに、

キーン先生は梅田純一の作品を「哲学的だ」と語った。梅田純一はキーン先生を白つめ草に例えた。

長崎・出島に着いたオランダ荷の詰め物、干し草（詰め草）が、やがてこぼれ、種から芽を出し、その花は日本中に広がり、白つめ草と呼ばれるようになった由来はキーン先生のようなと思ったからだ。

2021年
4月1日(木)～
12月25日(土)

白つめ草の陶皿



夜桜壁面組絵皿を見るキーン先生と梅田純一

(写真：Hiroko Gunji)

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団
協力：個人 梅田純一／大平八紘／川田明子／キーン誠己／
Hiroko Gunji
団体 一般財団法人ドナルド・キーン記念財団／
海陽町立穴喰図書館／海陽町立穴喰小学校／
東京新聞／日本経済新聞社／
株式会社ブルボン

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

新潟県柏崎市諏訪町 10-17 TEL 0257-28-5755
www.donaldkeenecenter.jp/

蝶飛翔壁面組絵皿

収蔵庫から選んだ資料展

陶芸家・梅田純一と ドナルド・キーンの交流

～日本初のドナルド・キーン文庫は四国・徳島の穴喰町に～

■ 陶芸家・梅田純一とは？

キーン先生と30年もの間、親交があった梅田純一。1950年、東京・駒込生まれ。そこはキーン先生が52歳から亡くなるまでの歳月を暮らした場所。代表作品の多くがここから生まれた。梅田純一は、その同じ風景と空気の中で育ち、陶芸家を目指して羽ばたいた。



■ 二人が初めて出会った日

二人が初めて出会ったのは1988年春。東京のあるデパートで開かれた陶芸作家の個展。キーン先生は梅田純一の作品を一つ購入。彼は、自分の作品を買ってくれたその物静かな男性がキーン先生だとは知らなかった。売り場の近くにいた店員が、いま作品を買って帰った人は有名な日本文学研究家だと教えてくれた。梅田純一はキーン先生に手紙を書き、展示会の案内などを送るようになる。

■ 穴喰での交流

1993年、キーン先生が講演で四国に来ることを知った梅田純一は穴喰の自宅に招待した。

キーン先生が泊まる部屋は廃校になった小学校の黒板のある教室。この部屋がとてもお気に入りだった。キーン先生は、梅田純一や地元の人たちと心置きなく酒を呑み、楽しく語り合った。一人の人間に戻って誰とでも時を楽しむキーン先生に心惹かれたと梅田純一は語る。キーン先生は、研究や講演で多忙な日々を送る日常を離れて、心からくつろげる場所を穴喰に発見したのだろう。

■ 日本初のドナルド・キーン文庫

二人の交流から生まれたもの、もう一つは1999年に誕生した日本初のドナルド・キーン文庫。キーン先生が初めて穴喰を訪れたところ、町にあるのは小さな図書室で、十分な蔵書を備えてはいなかった。それを知っていたキーン先生は、新しく出来る図書館に陶板「百合の昼」とともに、子どもたちのためにたくさんの本を寄贈した。その後もたびたび本は贈られてきたという。



海陽町立穴喰図書館

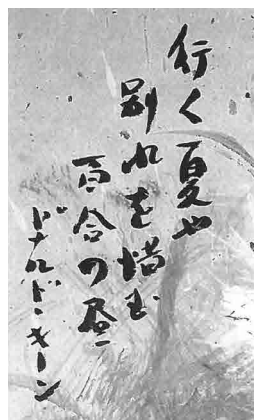
当館の収蔵資料にキーン先生から寄贈された陶器の茶碗があります。口縁に鮮やかなひまわりが絵付けされており、高台には梅田純一のサインがあります。彼はまた、亡きキーン先生の遺骨を納める骨壺を作陶しています。さらには、キーン先生のクロニクルを見ていくと、1999年に徳島県穴喰町図書館にドナルド・キーン文庫が誕生しています。穴喰町は梅田純一が終の棲家として選んだ地であり、キーン文庫の誕生に、彼はどのように関わっているのでしょうか。

キーン先生の人生を彩る梅田純一との交流を解き明かし、日本文学研究の第一人者としての顔とは別の、もう一つの素顔を見つめます。と同時に、キーン先生の心を掴んだ陶芸家、梅田純一の人間と作品をも紹介します。



ひまわり絵付茶碗

■ 共作「百合の昼」(絵画、陶版)



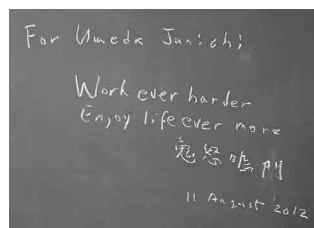
二人の交流から共作「百合の昼」(絵画と陶板)が生まれた。あるとき梅田純一は絵の題材にしていた乳母百合の群生地へキーン先生を案内した。そこは明治維新前夜、土佐藩の二十三士が尊王攘夷を叫んで脱藩し、藩境の野根山に立て籠もり、全員が斬首された悲劇の地。この記憶を次世代に残そうと梅田純一が乳母百合を描いていることを知ったキーン先生は、絵に自作の句を添えた。

「行く夏や 別れを惜む 百合の昼」

■ キーン先生の贈る言葉

2012年、キーン先生は最後となった穴喰訪問で、いつも泊まる教室の黒板にメッセージを書いた。

For Umeda Junichi
Work ever harder
Enjoy life ever more
鬼怒鳴門 11 August 2012
(いつもますます作業に励め。
そして人生を楽しめ)



黒板に残されたキーン先生の言葉

梅田純一は、キーン先生からの70通を超える手紙と、このメッセージを消さずに、今でも大切にしている。



開館時間：10:00～17:00(16:30最終入場)
休館日：毎週月曜日、火曜日(12月26日～3月31日は冬季休館)
入館料：大人 500円(400円)
 中高生 200円(160円)
 小学生 100円(80円)
※入館料で企画展をご覧いただけます。
※()内は20名以上の団体料金になります。
※障がい者手帳をお持ちの方と介添者(障がい者1名様につき、1名様)は入館料が半額になります。(団体割引との併用はできません。)

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWA
公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

新潟県柏崎市諏訪町10-17 TEL 0257-28-5755
www.donaldkeenecenter.jp/